

備えて安心 69

南海地震などおこる災害への備え

防災サポーター養成講座開催!

災害や防災対策について一定の知識と技術を持った人材を育成することを目的に開催している『防災サポーター養成講座』が1月15日から全3講座の内容で行われました。5年目を迎えた今年度は、16名の方が全過程を修了され、地域防災サポーターとして町の認定を受けました。

第1講座では、高知地方気象台の北村さんらを講師に迎え、自分たちの暮らしている地域は、どんな場所で何が起きようとしている



第1講座 災害知識を学ぶ

のかなど、南海地震の仕組みや日頃起こりやすい台風、大雨といった風水害などについての講義をしていただきました。

第2講座は普通救命講習として、黒潮消防署員より救命に関する知識と技能を身に付け行動できるよう、心肺蘇生法とAEDの操作について学びました。

第3講座では、阪神・淡路大震災を兵庫県淡路島の淡路市で実際に体験し、消防団員として地域の災害対応に当たられた経験を持つ野島断層保存館副館長の米山正幸さんに、当時の様子をふまえ、被災した直後の災害活動や、大きな災害時には日ごろの活動や地域の



第2講座 救命技術を学ぶ

つながりがいかに大切であるかといった今後の備えについて講話をしていただきました。午後からは、実技講習として、日本防災士会高知支部の皆さんを講師に、搬送方法やロープワーク、身の回りにある物の便利な利用法など、災害時に地域で役立つ技術を学びました。

南海地震では、さまざまな被害が予想されますが、一人ひとりの備えが大きな効果を生み、備える人が増えることで安心して暮らせる地域社会となります。

今回参加されなかった皆さんも次の機会にはぜひご参加いただき、災害に強いまちづくりを一緒に目指しましょう。



第3講座 災害時に役立つ技術を学ぶ

交通事故被害者のご家庭をサポートします

独立行政法人自動車事故対策機構では、育成資金の貸付や介護料の支給を行っています。

育成資金の貸付は、自動車事故が原因で保護者を亡くしたり、重度の後遺障害を残したりして、生活困窮となった家庭の児童(中学生以下)に、義務教育終了までの経済的手助けを行う制度です。

また、介護料は、自動車事故が原因で重度の後遺障害となり、介護の必要な方に支給されます。

★金額

【育成資金貸付額】

- 一時金 15万5000円
- 入学支度金 4万4000円
- 月額 2万円

【介護料支給】

- 重度後遺障害の程度によって支給額は異なります。
- (月額 約3万円〜13万円程度)

※詳細については、左記までお問い合わせください。

★お問い合わせ

独立行政法人自動車事故対策機構

☎088-831-1817